

発達障害者支援のあり方の検討について

1. 趣旨

発達障害者の自立と社会参加の実現に向けて、早期発見・早期療育をはじめ、ライフステージ(乳幼児期～成人期)を通じて、保健、医療、福祉、教育、労働等が連携した適切な支援が継続的に提供されるよう、中長期的な視点にたった発達障害者支援のあるべき姿を検討する。

2. 検討内容

- ・ 早期発見・早期療育をはじめ、ライフステージに対応した支援策
- ・ 各機関の役割分担・連携等の支援体制
- ・ 支援のための人材育成 など

3. 委員会の構成

別紙のとおり

4. スケジュール(予定)

10月5日 発達障害者支援の現状と課題
11月頃 発達障害者支援の方向性
年度内 とりまとめ

* 状況に応じて追加開催する場合もある

「明日の京都」(平成23年1月)

【府民安心の再構築】

・子育て・子育ての安心

発達障害児のスクリーニングから相談・保育所等への保育支援など、発達障害児を早期に発見し、的確な療養の場につなげられるよう支援します。

・医療・福祉の安心

発達障害児療育などの拠点施設としての舞鶴こども療育センターの充実強化を推進します。

監査委員意見(平成24年8月)

発達障害について早期に発見し、早期に療育につなげるとともに、的確にフォローする体制を構築することで、総合的に発達障害に対する取組を深め、発達障害で困っておられる方々に対する全国のモデルケースとなる施策の展開を期待する。